海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校
校　長　室　だ　よ　り
令和５年５月　12　日
第2号
文責　校長　柳川洋史

Community School 運営協議会

四日市市では、各学校に「Community School 運営協議会（以下 CS）」が設置されています。全国の学校にも設置されていますが、四日市市としての設置趣旨は、「保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校運営への参画を行うシステムを有し、「学校づくりビジョン」の実現を図るものとする」と謳われています。

これまで海蔵小でも、年に5～6 回学校参観および会議を行い、学校運営について意見をいただく場を設けてきました。今年度も第 1 回を開催しました。

委員には、海蔵地区関係諸団体 「青少年相談員」「海蔵地区自治会長」「海蔵セフティネット」「主任児童委員」「海蔵地域マネージャー」「海蔵地区老人会（若生会）」「海蔵幼稚園」「海蔵小 PTA」代表の方に、四日市市より委嘱させていただいています。

第 1 回では、学校より、学校づくりビジョン（HP に掲載）をもとに、学校運営における成果と課題について説明させていただきました。

大きな柱は、児童や保護者の方への学校生活アンケートや学力調査、QU 調査等の結果を踏まえ、学校教育力をどのように高めていくかについてです。

近年学校には、国算理社体音図家生総といった教科教育はもちろんのこと、人権教育、道徳教育、英語教育、情報教育、キャリア教育、食教育、環境教育、防災教育、安全教育等々、多くの面から、教育内容・活動、教育課程を編成し実践していく使命が与えられています。

教職員の働き方について、様々な報道がなされています。海蔵小では、具体的な手立てとして、学年担任団で学年の子どもたち全員を指導していくことを念頭に置き、3 年生以上で教科担任制を取り入れました。そして学年付き専科教員を配置し、情報共有することで多面的に子どもを理解し、指導に携われるよう努めます。また、担当教科を減らすことで、教材研究・準備の時間を産み出し、子どもたちと向き合える時間の確保につなげながら、授業の質の維持・向上を狙っていきます。

四日市市全体の働き方改革に向けた取り組みとしても、ICT 機器、電話時間限定、業務アシスタント、スクールサポートスタッフ　学習指導員、カウンセラー、スクールソーシャルワーカー、図書館司書、給食公会計等の活用が段階的に整備されています。

委員の方からは、より良い方向に向けて学校運営が行われるように、地域・保護者・学校が、理解・協力し合っていくことの重要性、ご提言を多面的にいただきました。少しずつ改善につなげさせていただきます。